

令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪府教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)			平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学		理科
3 年	学校	43	46	31	12.1	25.9	学校	429
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	45	54.1	47.1	43.3	35.8	49.3	11.6	8.3	16.9	19.2	9.0
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4

※ 3年生の理科はB問題を選択

令和7年度 中島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

＜国語＞ 平均正答率について、全国が54.3、大阪市が52に対し、本校は46と8pt程度下回った。全国と比較して、「話すこと・聞くこと」領域においては6.7pt、「書くこと」領域においては9.1pt、「読むこと」領域においては15.8pt下回る結果であった。平均無回答率も全国6.7、大阪市6.8に対し、本校は12.1ptと高かった。生徒質問紙において、「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問項目に対する肯定的な回答は82.2%と高いものの、「国語の勉強は得意ですか」や「国語の勉強は好きですか」の質問項目に対する肯定的な回答が35.5%、53.3%と低い。また、「国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか」や「国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか」といった質問項目についての肯定的回答については全国と比較しても差は大きくないことから、授業で学習した内容を自分のものとして消化したつもりであるが、試験において応用して解答するという部分に課題があると考えられる。

＜数学＞ 平均正答率について、全国が48.3、大阪市が46に対し、本校が31ptと17pt程度下回った。また、領域別では「数と式」「図形」「データの活用」領域のそれぞれで全国と比較して16pt程度下回っており、「関数」領域では21pt程度下回る結果であった。生徒質問紙における「数学の勉強は得意ですか」や「数学の勉強は好きですか」の質問項目に対する肯定的な回答は全国と比べて高いが、平均無解答率は全国10.6、大阪市11.2に対し、本校は25.9と大きく上回っており、とくに問題文の読解や記述式の解答に課題や苦手意識があると考えられる。

＜理科＞ 平均IRTスコアは全国503、大阪市489に対し、本校は429となり、74pt下回った。生徒質問紙において、「理科の勉強は得意ですか」や「理科の勉強は好きですか」の質問項目に対する肯定的な回答は低く、理科に苦手意識がある生徒が多いと考えられる。

【今後に向けて】

＜国語＞ 「書くこと」や「読むこと」に関しての平均正答率を上げるため、授業の中で自分の意見を書いてまとめる活動を多く取り入れたりと、必要な情報を読み取る活動を取り入れるなど、言語能力や読解力の向上を図る。

＜数学＞ 記述式の問題は無解答率が高く正答率が低いと、習熟度別少人数授業や校内での学力向上の取組において、基礎の定着や論理的な思考の向上を図る。

＜理科＞ 授業の中で、生徒の興味関心を高め、主体的に学ぶ体験的活動を取り入れたりと、お互いに意見を交流する対話的な活動をさらに取り入れ、科学的な思考の向上を図る。

○中学生チャレンジテスト(9年生)

【成果と課題】

平均点について、大阪府と比較すると、国語では10.1pt、社会では4.1pt、数学では10.6pt、理科では10.2pt、英語では3.9pt下回る結果となった。また、無解答率は、大阪府と比較すると、国語では4.8pt、社会では1.8pt、数学では4.8pt、理科では8.2pt、英語では1.6pt上回る結果となった。英語は無解答率の差が小さくなり、生徒が前向きで意欲的に取り組むことで、同一集団における平均点に伸びが見られる結果となった。また、生徒アンケートでは、「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある」の項目で肯定的な回答が70.5%と大阪府平均65.4%を上回る結果となり、授業内において学習者用端末を有効に活用していると思われる。

【今後に向けて】

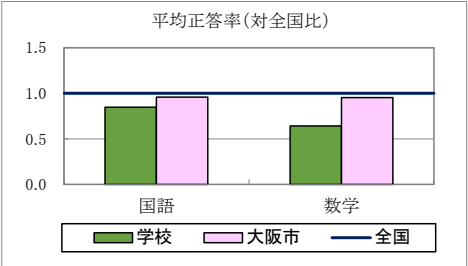
すべての教科において、大阪府の平均点より下回っているため、今後もさらに本市の学力向上支援事業に係る支援サポーターや放課後元気アップ学習会等を活用して、学力の定着を図れるよう取り組む。また、生徒アンケートにおいて「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる」の肯定的な回答は84.1%と、大阪府(90.3%)と比較して下回っているため、授業において文章や資料をじっくりと読ませるなど、生徒が読解力を高めることができるような取組をさらに進めたい。

令和7年度 中島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

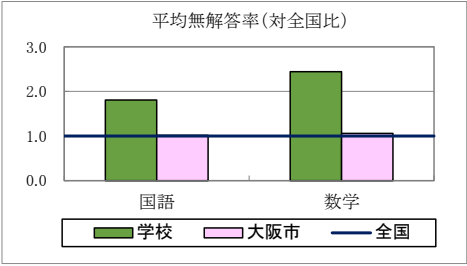
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	46	31
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

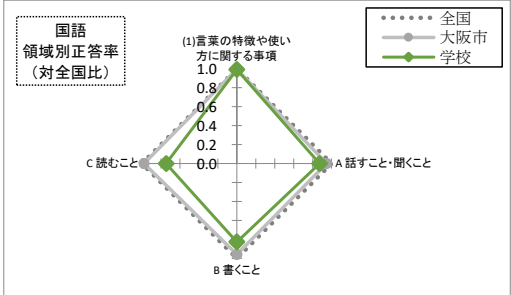
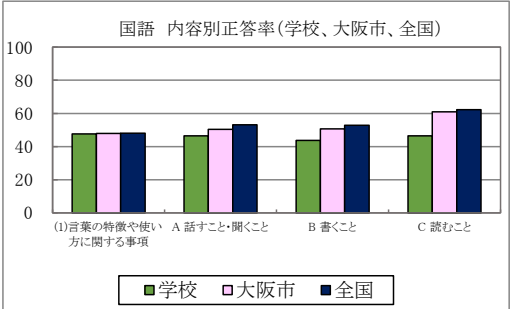


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	12.1	25.9
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



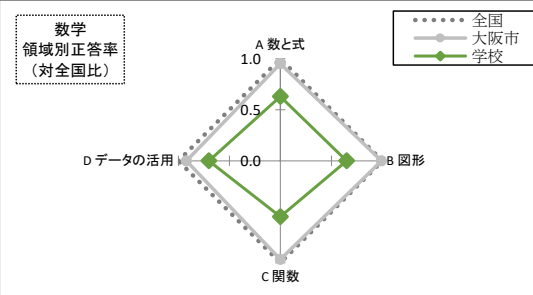
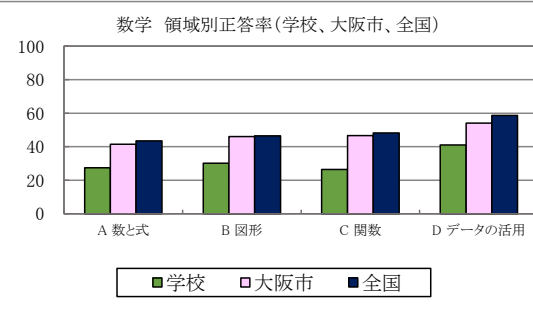
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	47.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.5	50.4	53.2
B 書くこと	5	43.7	50.6	52.8
C 読むこと	3	46.5	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	27.4	41.4	43.5
B 図形	4	30.2	46.1	46.5
C 関数	3	26.4	46.6	48.2
D データの活用	3	41.1	54.0	58.6

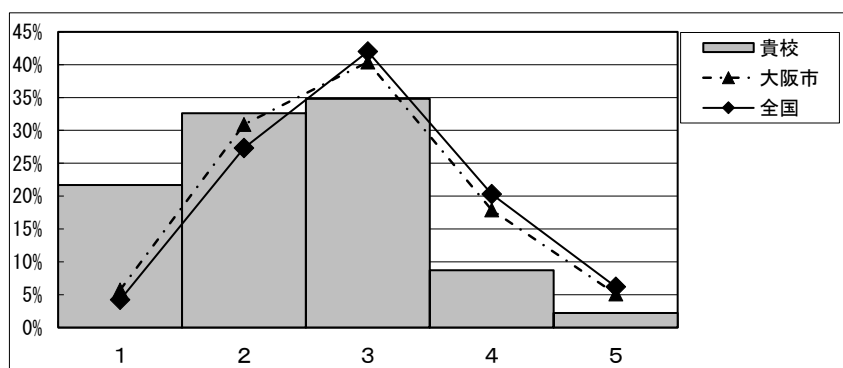
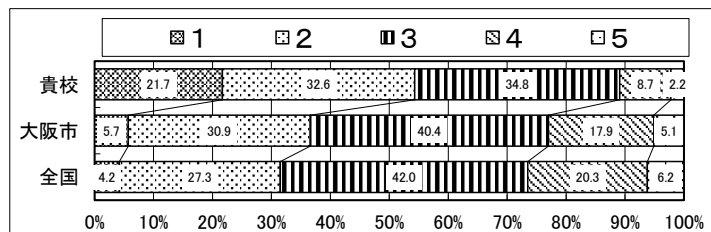


令和7年度 中島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	429
大阪市	489
全国	503



令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

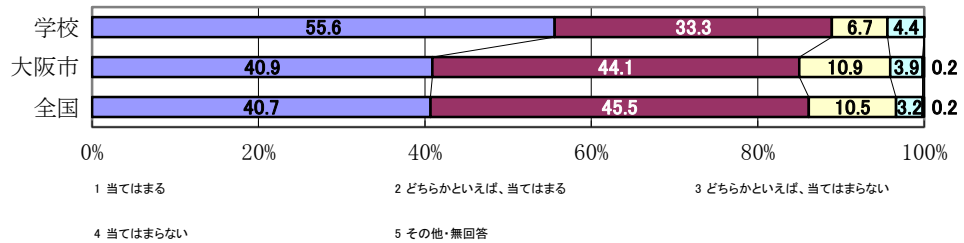
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

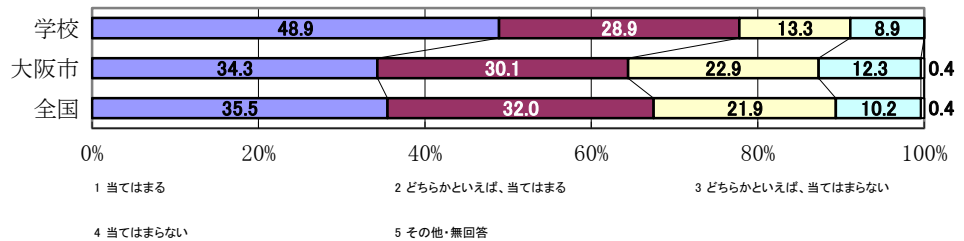
5

自分には、よいところがあると思いますか



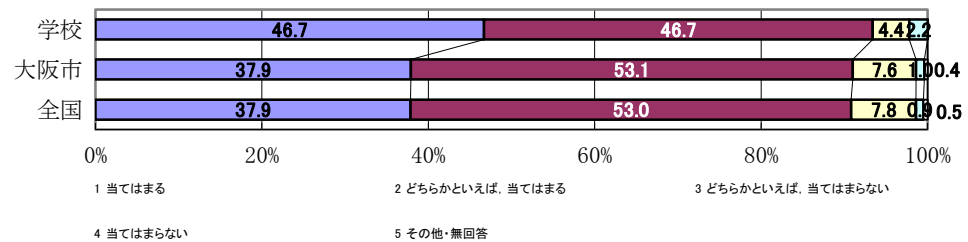
7

将来の夢や目標を持っていますか



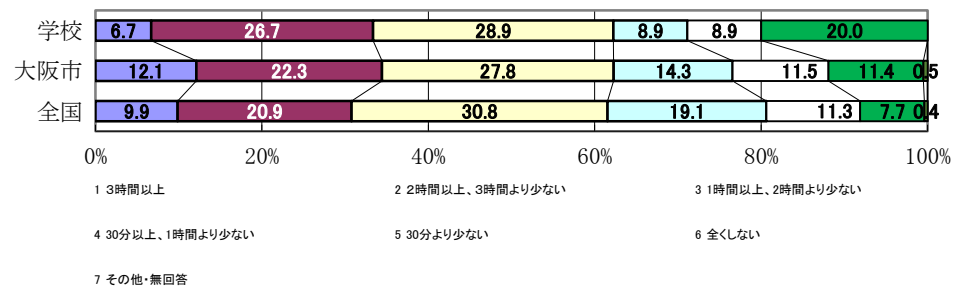
8

人が困っているときは、進んで助けられていますか



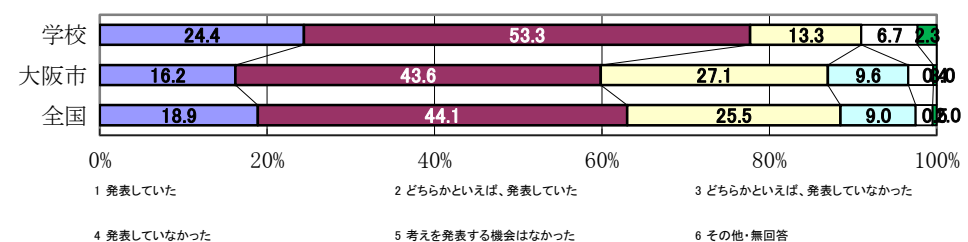
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



31

1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

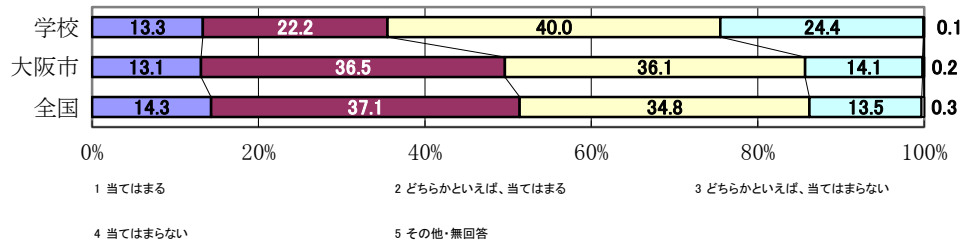
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

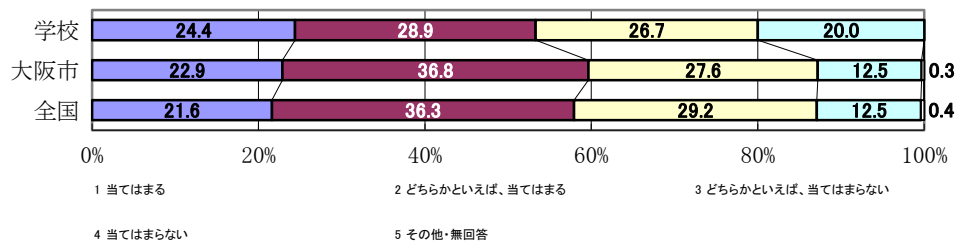
44

国語の勉強は得意ですか



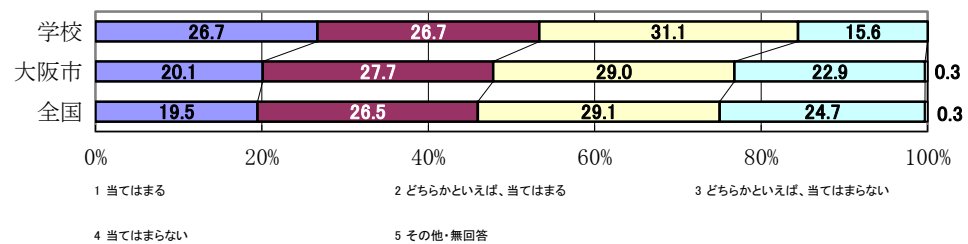
45

国語の勉強は好きですか



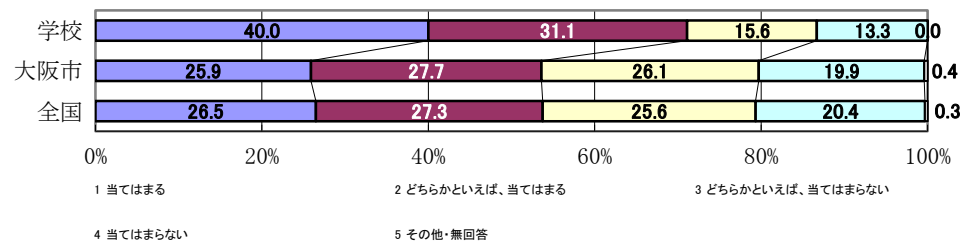
52

数学の勉強は得意ですか



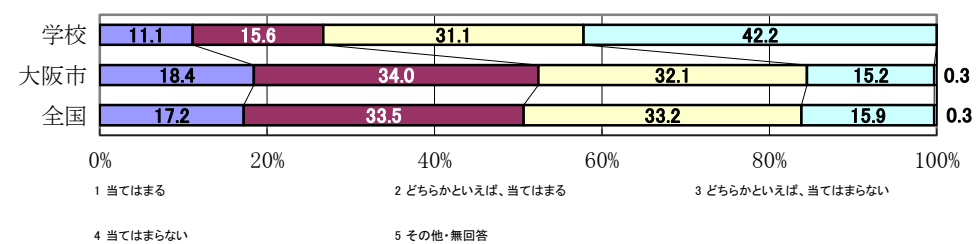
53

数学の勉強は好きですか



60

理科の勉強は得意ですか



令和7年度 中島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

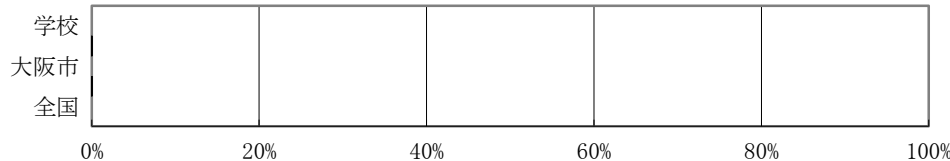
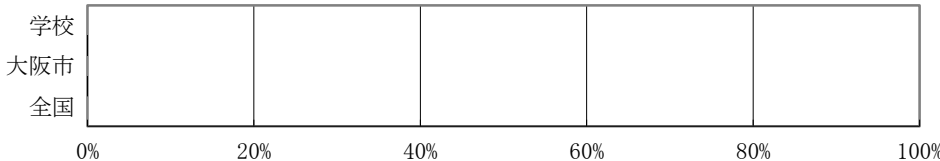
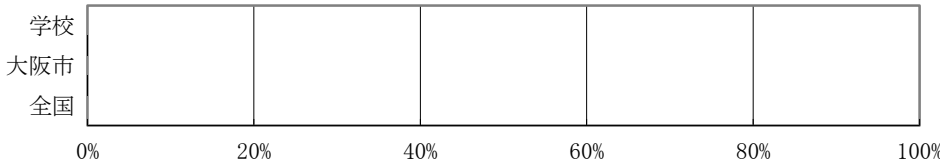
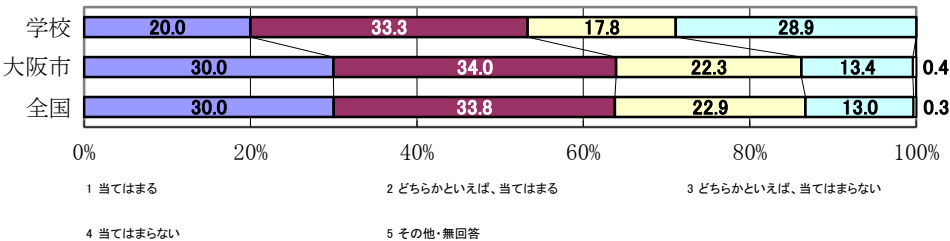
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

61

理科の勉強は好きですか



令和7年度 中島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より



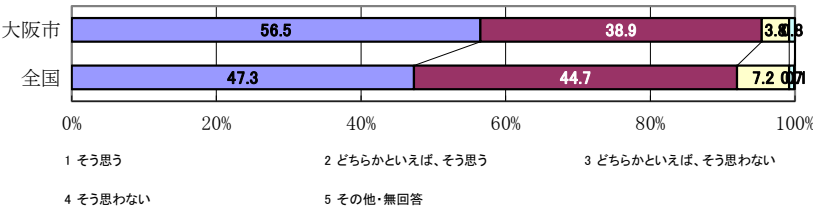
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

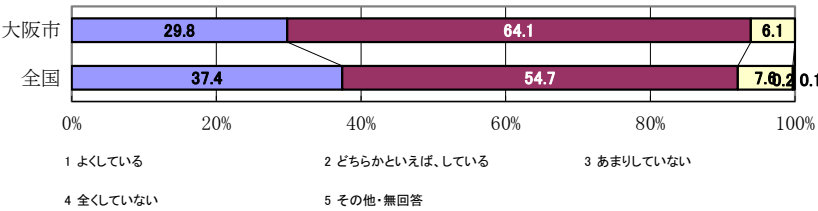
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

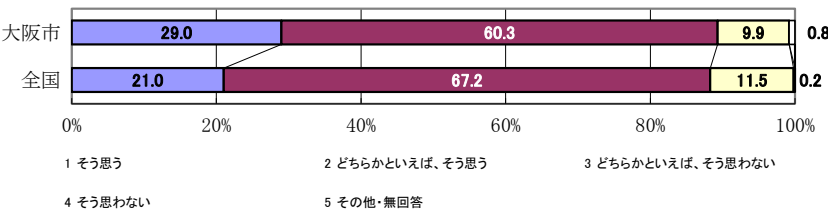
学校 「どちらかといえば、している」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

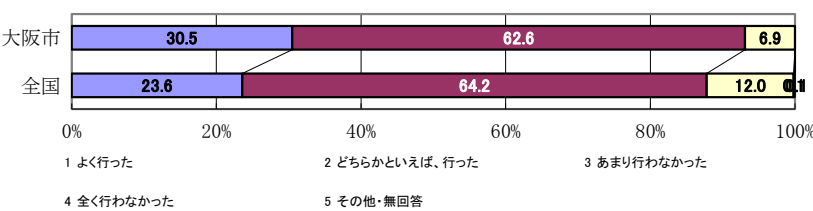
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



30

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

